



地域を愛し、夢を語り、未来を拓く生徒の育成



至誠中だより

2024 年 (令和 6 年)
7 月 31 日

Tel 988-0614 、 Fax 988-0627

No 5

E-mail chu-shisei@manabi.city.fukuyama.hiroshima.jp

「蒔かない種は育たない」

先日から始まったパリオリンピック。連日、テレビなどでは選手の活躍する姿が伝えられています。

日本勢の今大会メダル 1 号となった柔道の角田夏実 選手。彼女は、中学 2 年では、全国大会に出場したものの、わずか 13 秒で初戦敗退に終わったそうです。

「もっと強くなりたい」と、強豪校の八千代高校に進学、きつい練習に耐えてきたものの、インターハイ 3 位が最高で、目標の日本一には届きませんでした。

彼女は競技を辞めて専門学校や大学に入ることも考えましたが、家族からは「目的のない進学なら学費は出さない」と反対され、高校の恩師らの説得もあり、東京学芸大学へ進学しました。

大学進学後、女子柔道部で和気あいあいとした雰囲気の中で、自分で考えて取り組む柔道の楽しさを知り、いつの間にか本気で柔道に向き合っていたそうです。

また、女子柔道部で出会ったのが柔術でした。彼女は高校時代から、寝技や関節技を得意としていました。日本では立ち技で一本をとる柔道を重視し、求める傾向がありますが、大学では立ち技で一本をとる柔道への修正を求められることなく、むしろそれをどう伸ばしていくかを考え、朝 6 時半から有志が自主的に道場に集まり柔術練習を行ったそうです。苦手をどう埋めるかより、まずは得意なところを伸ばしていたのです。

そして、常に研さんを続け、変幻自在のともえ投げと一撃必殺の腕ひしぎ十字固めで、狙った獲物は逃がさない。そんな独自のスタイルを身に付けた角田さんは、見事、金メダルを手にしたのです。

角田さんは、柔道と出会い、練習の中で寝技や関節技という得意（自分の中にある種）を発見し、大学でそれを育てていき、このオリンピックという場で花開かせたのです。

人それぞれ「種」は違います。その「種」に気付き、どのように育てていくかが大切なのだと思います。自身の「種」に気付くことができないと、蒔くことはできません。蒔かない種は育ちません。自分の中にある「種」に気付けるよう、自身を見つめ、様々な経験をする夏休みにしてください。

8 月行事予定

- 1 日 (木) 三者懇談 (最終日)
- 3 日 (土) 山南夏祭り (ボランティア)
- 12 日 (月) 熊野学区夏祭り (ボランティア)
- 13 日 (火) ～16 日 (金) 閉庁日
- ※閉庁期間中、緊急な連絡がある場合は
福山市教育委員会にご連絡ください。
- 21 日 (水) P T A 本部役員会

※スクールカウンセラー勤務日
8 月 20 日 (火)

9 月行事予定

- 2 日 (月) 始業式、実力試験 (3 年)
- 3 日 (火) 英検 I B A (全学年)
- 13 日 (金) 授業参観
- 18 日 (水) ユニバーサル野球体験会 (1 年)、P T A 本部役員会
- 26 日 (木)、27 日 (金) 中間試験
- 29 日 (日) 至誠・相青ブロック親善球技大会

※スクールカウンセラー勤務日
9 月 3 日 (火)、17 日 (火)、24 日 (火)